様式第１号（第１０条関係）

2024 年度業務実績報告書

提出日　2025 年 1 月 7 日

１．職名・氏名　教授　小島　亜未

２．学位　　学位　博士　、専門分野　学術　、授与機関　神戸大学大学院人間発達環境学研究科　、授与年　2018 年

３．教育活動

(1)講義・演習・実験・実習
①　担当科目名（単位数）　主たる配当年次等 **学部：** 公衆衛生看護活動論Ⅰ（1 単位）　2 年生 公衆衛生看護活動論Ⅱ（2 単位）　3 年生 公衆衛生看護技術Ⅰ（1 単位）　3 年生 公衆衛生看護技術Ⅲ（1 単位）　3 年生 政策形成過程演習（1 単位）3 年生 公衆衛生看護学実習Ⅰ（2 単位）　4 年生 公衆衛生看護学実習Ⅱ（3 単位）　4 年生 産業保健論（1 単位）　3 年生 卒業研究担当（3 単位）　4 年生 **大学院：** 看護政策論（2 単位）　1 年生 地域包括ケア演習（4 単位）　1 年生
②　内容・ねらい ・公衆衛生看護活動を展開するために必要な知識・方法について講義または演習にて教授した。また、公衆衛生看護学に必要な看護実践能力の獲得に向け指導する。 ・産業保健論では、産業看護の目的と産業保健の制度とシステムを踏まえて産業看護活動の実際について教授した。 ・卒業研究では、科学的思考力を養い主体的に探究する態度と研究能力の基礎を身につけられるよう指導する。 ・看護政策論では、看護職が専門的な能力を十分に発揮し、社会に貢献しながら人々のニーズに応えるべき質の高い看護の提供を実現化するための法律や制度を教授する。 ・地域包括ケア演習では、地域包括ケアに関する理論を通して地域社会における諸問題に対する対処・解決方法を考察する。
③　講義・演習・実験・実習運営上の工夫 ・学部授業では、毎回授業終了時にレスポンスシートを提出してもらい、理解度を確認するとともに、学生からの質問については、次回授業時にフィードバックするようにした。 ・行政保健師、産業保健師の経験を活かし、活動の展開の実際や専門職に求められる役割についてイメージしやすいように事例を通して伝えるようにした。 ・国家試験に対応できるように、ポイントを整理し授業や実習を行った。
(2)その他の教育活動
内容 ・公衆衛生看護学実習では、現場の保健師等と保健師教育についての意見交換、連携を図りながら実習指導にあたるようにした。

４．研究業績

(1)研究業績の公表
① 著書 【0 本】
②学術論文（査読あり） 【1 本】
③その他論文（査読なし） 【0 本】
④ 学会発表等 ＊１．労働者の睡眠と生きがい意識、ストレスレジリエンス、ソーシャルサポートとの関連、第 83 回日本公衆衛生学会総会、2024.11、小島亜未、加藤佳子 ２．自律的動機づけおよび統制された動機づけと MetS 関連指標の関連―健康な食生活を送る動機づけに注目して―、第 83 回日本公衆衛生学会総会、2024.11、加藤佳子、小島亜未 ３．自律的動機づけおよび統制された動機づけと MetS 関連指標の関連―健康のために運動を行う動機づけに注目して―、日本応用心理学会第 90 回大会、2024.8、加藤佳子、村田康徳、小島亜未 【3 件】
⑤ その他の公表実績 2024 年度福井県立大学研究シーズ集、健康につながる食教育プログラムの開発―食に焦点をあてた健康・行動変容の促進要因を検討、p74. 【1 本】

(2)科研費等の競争的資金獲得実績
【学外】 令和５年度～令和 7 年度　科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）基盤研究 C　研究代表者「行動科学を活用した睡眠マネジメントプログラムの開発」 【学内】 KF 枠研究代表者「保健師現任教育を見据えた保健師基礎教育プログラムの検討―保健師教育評価指標に基づく実態調査から―」

(3)特許等取得

(4)学会活動等

５．地域・社会貢献活動

・福井県立大学開放講義に係る講師「母子保健　妊婦・乳幼児の発達と看護」鯖江高校、2024.10.18 ・永平寺町とＮＴＴ西日本　「睡眠改善プログラム」に係る対象住民への睡眠指導担当。

６．大学運営への参画

(1)補職
(2)委員会・チーム活動
・卒業研究係 ・研究活性化 WG メンバー ・大学院看護福祉学研究科（修士）WG メンバー
(3)学内行事への参加
(4)その他、自発的活動など